

# 連載 講座

## 地域防災実戦ノウハウ(45) —実践的な防災訓練を目指して (その22)—

Blog 防災・危機管理トレーニング

主宰 日野宗門

(元消防科学総合センター研究開発部長)

(前号からの続き)

### 3.4 訓練開始(9時00分)

#### (1) 訓練開始の合図、時間管理の開始

午前9時になったところでマイク等により、「ただ今から訓練を開始します。最初はフェーズ1(地震発生～3時間後)です。なお、本訓練で想定する〇〇市の9月1日午前9時現在の気象条件は、天気曇り、気温27度、風速5m/sです。」とアナウンスします(必要に応じて繰り返す)。

これにより訓練が開始され、統制班(時間管理係)はホワイトボードに「訓練上の想定時刻」の掲示を開始します(※)。

なお、フェーズ2(6時間後～12時間後)、フェーズ3(24時間後～48時間後)へ移行するときには、「次はフェーズ〇の訓練を行います。」と明瞭にアナウンスし、訓練対象時間が変わったことを訓練参加者に周知徹底します。

※プログラミングの得意な方は、パソコンで「デジタル時計」プログラム(1倍速～数倍速で進めることのできる機能を有したもの)を作成しておき、その時刻をプロジェクターでホワイトボードやスクリーンに投影することで時間管理する方法も考えられます。そうすれば、訓練中にたびたびホワイトボードを書き換える手間を省けます(訓練要員も減らせます)。

#### (2) 状況付与

(1)に続いて統制班(状況付与係)は、「状況付与票配付スケジュール」に基づき、訓練参加者に状況付与票を配付します。表1に「状況付与票配付スケジュール」の例を示しました。

また、表1の「状況付与票配付スケジュール(例)」に対応した「状況付与票」の例を図1-1～1-5に示しました。

表 1 状況付与票配付スケジュール (例)

	No.	付与時刻	付与先	付与方法 (注)	件名
フェーズ1	1	9:00	全参加機関	手渡し	気象庁の震度速報
	2	9:03	〇〇市防災主管課	〃	災害概況速報の求め
	3	9:04	△△消防本部	〃	災害概況速報の求め、緊急消防援助隊の出勤の要否報告の求め
	4	9:05	全参加機関	〃	気象庁の震源情報
	...	.....	.....	.....	.....
	10	9:12	△△消防本部、〇〇市消防団	〃	××駅前商店街で火災発生
	11	9:20	△△消防本部、〇〇市医師会	〃	ショッピングセンターの天井崩落で多数の負傷者発生
	12	9:22	〇〇市防災主管課、〇〇市建設課、〇〇市消防団	〃	▲▲川堤防損壊により破堤の恐れ
	13	9:26	〇〇市市民課	〃	□□小学校の避難状況と今後の見込み
	...	.....	.....	.....	.....
フェーズ2	28	9:45	〇〇市市民課	〃	■●中学校の避難者への食料等の調達依頼
	...	.....	.....	.....	.....
フェーズ3	46	10:15	〇〇市福祉課、〇〇市社会福祉協議会	〃	ボランティアからの問い合わせ
	...	.....	.....	.....	.....

(注) 本稿では、市町村が図上シミュレーション訓練を簡便に行う方法を解説していることから、「付与方法」はもっとも容易な「(統制班からの)手渡し」方法を採用しています。しかし、余力があれば、内線電話、FAX、携帯電話、無線などを「付与方法」として用いてもかまいません。

No.	1		
付与時刻	9:00	想定時刻	9月1日 9:02
付与先	全参加機関		
発信元	テレビ、ラジオ	付与方法	統制班から手渡し
件名	気象庁の震度速報		
付与事項			
<p>気象庁から以下のような震度速報が発表されました。</p> <p>9月1日午前9時00分頃、地震による強い揺れを感じました。</p> <p>現在、震度3以上が観測されている地域は次のとおりです。</p> <p>震度7   ○○○、○○○</p> <p>震度6強   ○○○、○○○、○○○、○○○、○○○</p> <p>震度6弱   ○○○、○○○、○○○、○○○、○○○</p> <p>震度5強   ○○○、○○○、○○○、○○○、○○○</p> <p>震度5弱   ○○○、○○○、○○○、○○○、○○○</p> <p>震度4   ○○○、○○○、○○○、○○○、○○○</p> <p>震度3   ○○○、○○○、○○○、○○○、○○○</p>			

図1-1 状況付与票の例 (No.1の場合)

No.	3		
付与時刻	9:04	想定時刻	9月1日 9:07
付与先	△△消防本部		
発信元	県、国(消防庁)	付与方法	統制班から手渡し
件名	災害概況速報の求め、緊急消防援助隊の出動の要否報告の求め		
付与事項			
<p>災害状況の報告(災害概況即報)を30分以内をお願いします。</p> <p>また、あわせて緊急消防援助隊の出動の要否の報告をお願いします。</p>			

図1-2 状況付与票の例 (No.3の場合)

No.	10		
付与時刻	9:12	想定時刻	9月1日 9:19
付与先	△△消防本部、〇〇市消防団		
発信元	市民	付与方法	統制班から手渡し
件名	××駅前商店街で火災発生		
付与事項			
<p>××駅前商店街で火災が発生しました。付近住民が消火活動中ですが、延焼し始めています。この影響で駅前の道路は渋滞しています。</p>			

図1-3 状況付与票の例 (No.10の場合)

No.	28		
付与時刻	9:45	想定時刻	9月1日 16:30
付与先	〇〇市市民課		
発信元	■■■中学校避難所運営担当	付与方法	統制班から手渡し
件名	■■■中学校の避難者への食料等の調達依頼		
付与事項			
<p>■■■中学校に現在100名の被災者が避難しているが、食料がまだ届いていない。地震のため避難者は昼食を取っておらず、空腹を訴える人が増えている。</p> <p>なお、現在は自宅に居る被災者の中には余震を不安に感じて今夜は避難所で過ごす人もいると思われるため、余裕をみた食料等の調達をお願いしたい。</p>			

図1-4 状況付与票の例 (No.28の場合)

No.	46		
付与時刻	10:15	想定時刻	9月2日 9:30
付与先	〇〇市福祉課、〇〇市社会福祉協議会		
発信元	ボランティア	付与方法	統制班から手渡し
件名	ボランティアからの問い合わせ		
付与事項			
<p>ボランティア活動を行いたいが、どこへ行ったら良いか。なお、私はボランティアコーディネータの経験もある。</p>			

図1-5 状況付与票の例 (No.46の場合)

訓練参加者は、これらの状況付与票で付与された状況を踏まえ対応を考えることになります。

なお、図 1-1～1-5 の状況付与票(例)の中の「付与事項」は、通常「状況付与シナリオ」(訓練参加者に付与する状況を記述した文章やデータ等)と呼ばれるものですが、図上シミュレーション訓練の実施に先立って当該自治体において準備しておく必要があります。

「準備しておく必要があります」と簡単に書きましたが、図上シミュレーション訓練を企画・実施したことのある自治体の関係者からは、「状況付与シナリオの作成が大変である」というお話を良く聞きます。図上シミュレーション訓練の実施を妨げる主要な問題の一つがこれであり、訓練企画者(多くは統制班の方々と重複すると思われませんが)を大いに悩ませます。しかし、朗報があります。平成 17 年 3 月に総務省消防庁震災等応急室が出した「地方公共団体の地震防災訓練(図上型訓練)実施要領モデルの作成に関する調査研究報告書」に添付されている CD-ROM がその悩みを解決してくれそうです。その CD-ROM の「3 巻末資料 PDF」フォルダ内の「巻末資料一 1 シナリオ PDF」フォルダの中に各地の図上訓練で実際に使用された「状況付与シナリオ」が収録されています。それらを参考にすれば、「状況付与シナリオ」作りは、簡単に行えるようになると思います。皆さんの積極的なご活用を期待しています。

(次号へ続く)